

シンポジウム「東北日本とロシアーその過去と現在」（来ロ研 2009 年仙台合宿）
（来日ロシア人研究会、東北大学東北アジア研究センター、若宮丸漂流民の会 共催）
会場：東北大学金属材料研究所 2 号館講堂

10 月 31 日(土)

14:00～17:30 シンポジウム「東北日本とロシアーその過去と現在」
報告 中村喜和「秋田県のウラーのことなどー『開国への道』の一里塚」
大島幹雄「レザーノフの辞書を読む」
平川新「江戸時代のロシア漂流日本人とその後」
司会 長縄光男
18:00～20:00 懇親会（同研究所会議室）
会費は 4000 円程度

11 月 1 日(日)

09:30～12:30 「来ロ研」研究報告会
小山内道子「『月刊ロシア』(1935 年～1944 年)を渉猟して」
ミハイロワ・ユリア「『ノーヴォエ・ヴレーミャ』と『ロシア』に見る日
本と日露関係の《1906 年-1909 年》」
太田丈太郎「” ヴォークス” をめぐる人々」
13:30～17:30
ポダルコ・ピョートル「映画に見る亡命ロシア人」
檜山真一「仙台俘虜収容所の水兵モケエンコが語るサハリンでの冒険談
と日本兵の残虐行為」
宮崎千穂「シュレイデルのみた東北」
長縄光男「宣教師ニコライの東北巡回」

東北大学金属材料研究所 2 号館講堂

<http://www.imr.tohoku.ac.jp/jpn/map/index.html>

※ 両日とも聴講自由、参加無料